



# 女川原子力発電所の状況について

---

平成25年8月30日

東北電力株式会社



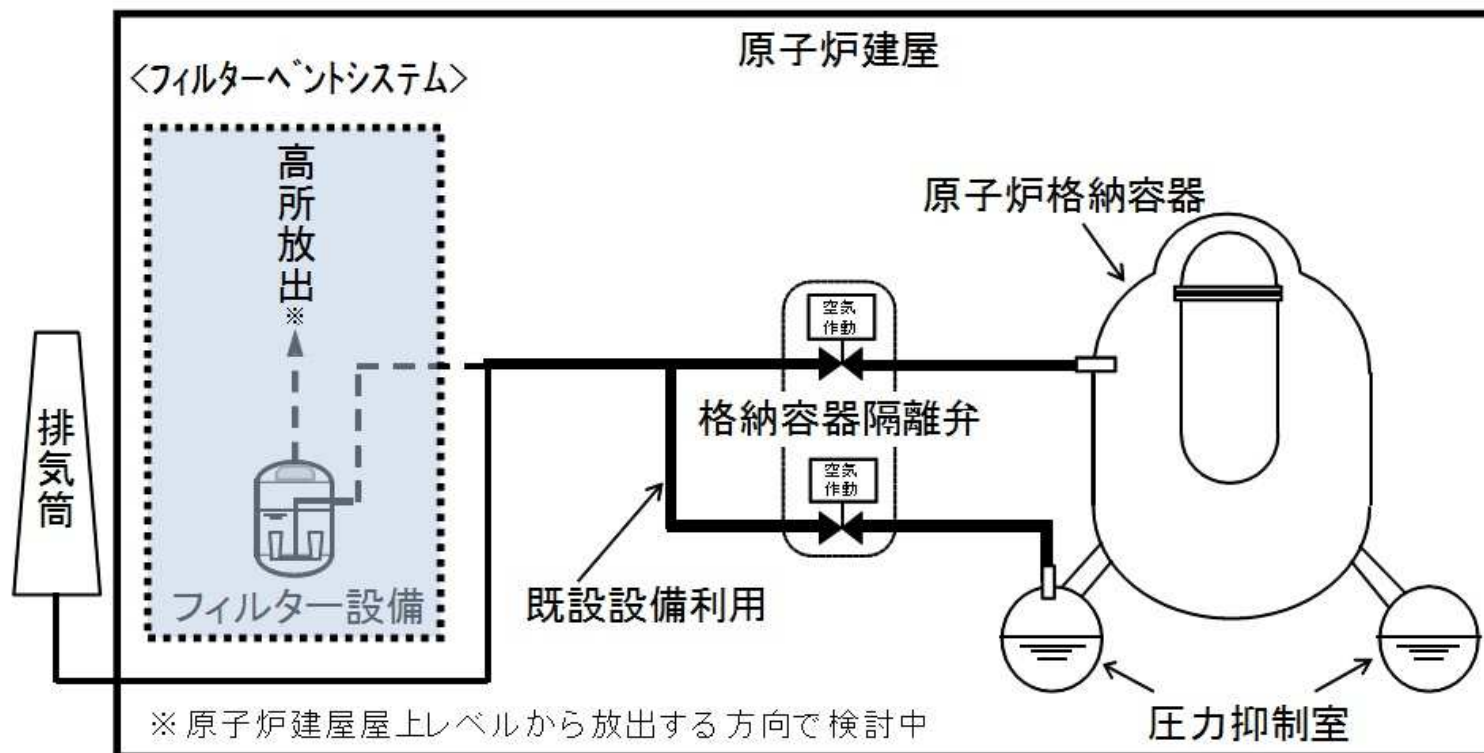
# 報告内容

---

1. 女川原子力発電所における  
フィルター付格納容器ベント設備の  
設置工事開始について

# 1. フィルター付格納容器ベント設備の概要

- 事故時に格納容器内の圧力を低減させる際、放射性物質の放出量を大幅に低減させて排気する設備。
- 2, 3号機に各1基設置。(原子炉建屋内の設置を検討中)
- 平成25年6月25日設置工事開始, 平成27年度中完成予定。



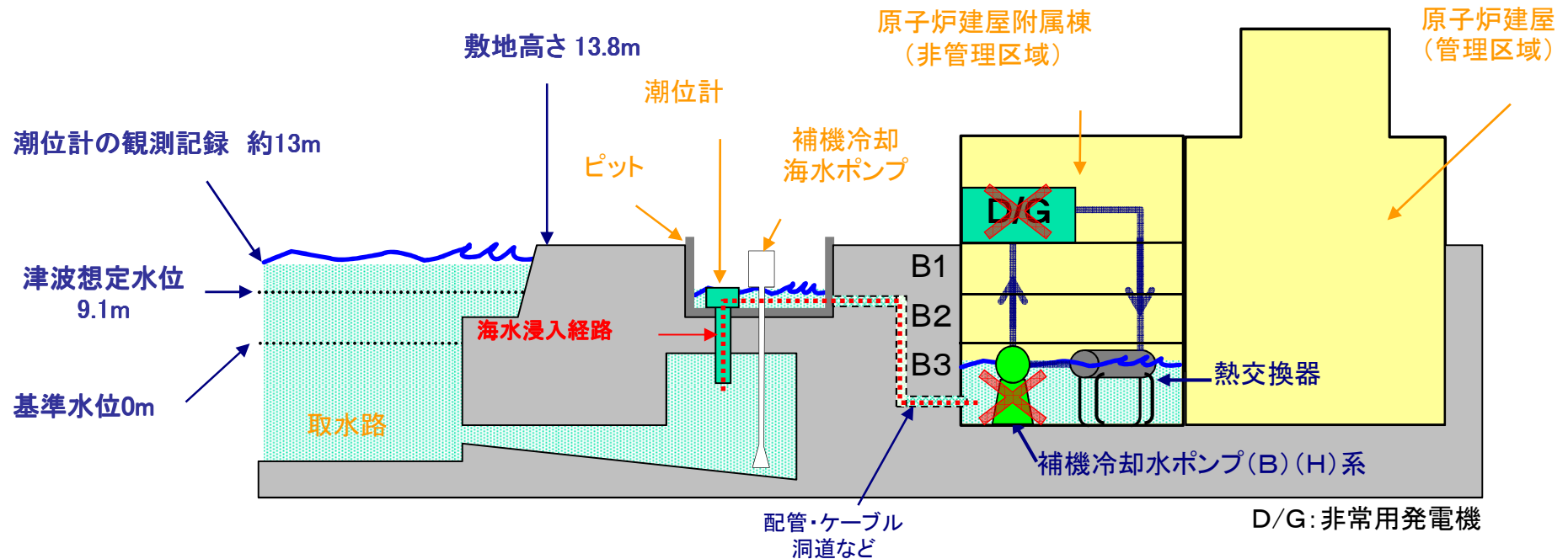


## 報告内容

---

### 2. 女川原子力発電所2号機における 震災時に発生したトラブルの INES「レベル2」評価について

# 1. 女川2号機 原子炉補機冷却水系ポンプ等の故障



女川2号機 原子炉補機冷却系熱交換機(B)室等への浸水経路

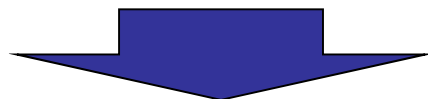
## 機能喪失

- ・原子炉補機冷却系(B), D/G(B)
- ・高圧炉心スプレイ補機冷却系(H), D/G(H)

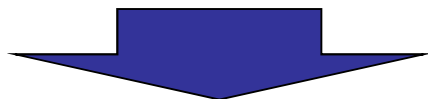
- ・原子炉補機冷却系(A), D/G(A)は健全
- ・他のD/G, 外部電源から電源供給可能
- ⇒原子炉の冷却機能に影響なし

## 2. 経緯

- 平成23年3月 炉規制法に基づき国にトラブル報告
- 平成23年5月 推定原因・再発防止対策を国に報告



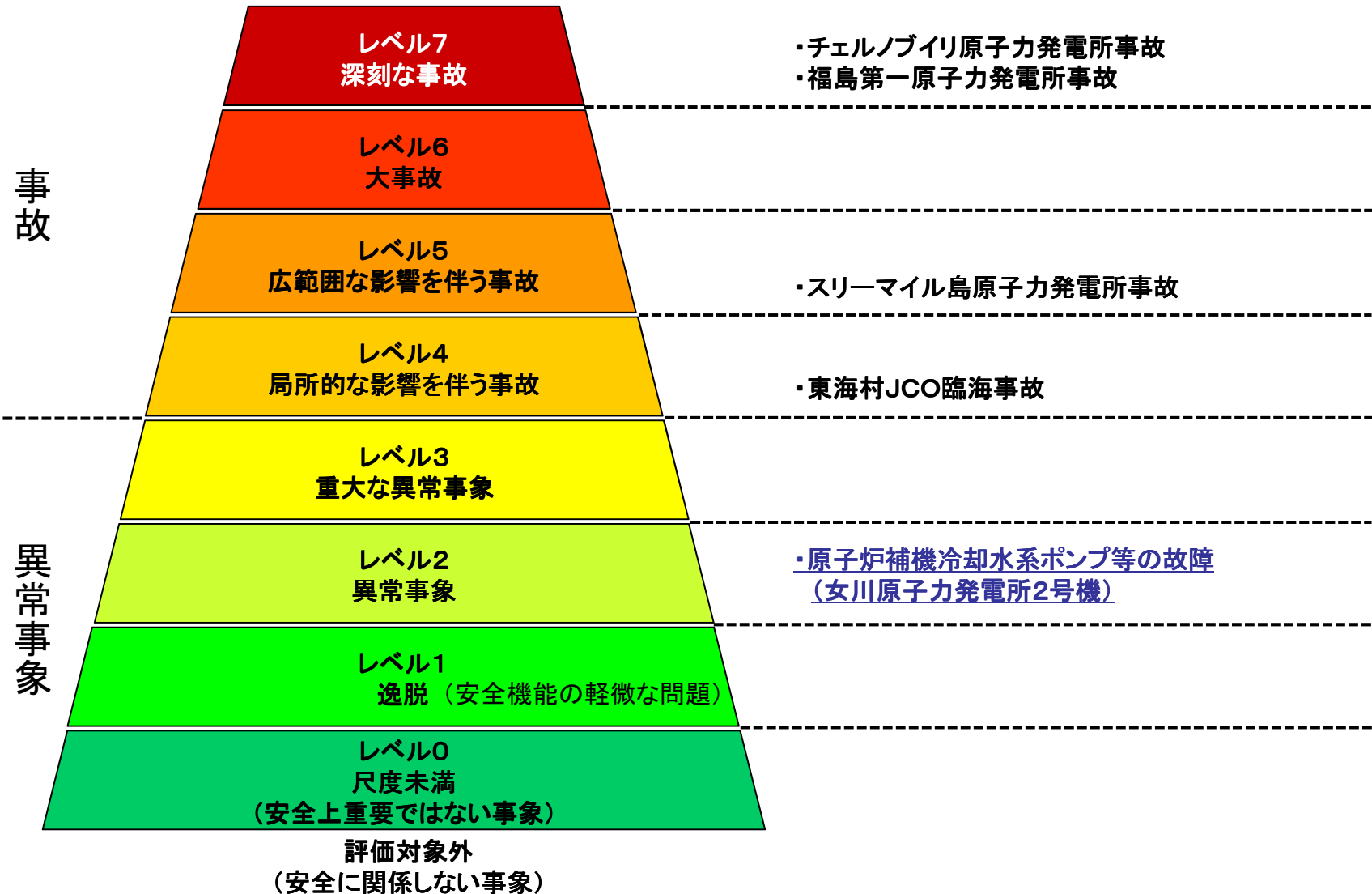
- 平成24年3月5日  
旧原子力安全・保安院より I N E S（国際原子力・放射線事象評価尺度）暫定「レベル2」と評価・公表。



- 平成25年7月10日  
原子力規制委員会にて正式に I N E S 「レベル2」と評価が確定・公表。

### 3. INES (国際原子力・放射線事象評価尺度)

<参考事例>



## 4. 評価概要

津波による浸水（共通要因）

原子炉補機冷却系 3 系列のうち 2 系列が機能喪失  
（複数の系列が同時に機能喪失）

- 原子炉の冷却機能に影響はなく，本来であれば「安全機能の軽微な問題」として「レベル 1」に該当。
- 国も原子炉の冷却機能に影響はなかったと評価。

INES評価ルール

特定の付加的要因（「共通要因故障※」，「手順書上の不備」，「安全文化の問題」）があれば1レベル引き上げることができる。

- 付加的要因（共通要因故障）により「レベル 2」と評価。

※ 単一の事象，故障の結果として多くの装置，機器が機能を喪失すること。





## 5. 今後の取り組み

---

- 本事象に対し以下の再発防止対策を実施済み。
  - ・ 海水流入経路への閉止板取り付け
  - ・ ケーブルトレイ，配管貫通部の補修等
- 今後も最新知見の反映等，発電所の安全性向上に努めていく。